

ふりがな 学校名	いしのまきしりつおがつちゆうがっこう 石巻市立雄勝中学校
-------------	---------------------------------

校長名：阿部明彦

電話番号：0225-57-3051

I 学校の概要

1 学校・地域の特徴

雄勝地区は石巻市の東部に位置し、リアス式海岸が美しい自然豊かな地域である。かつては遠洋漁業の基地として栄えたが、漁業の衰退に伴って過疎化・少子化が進み、産業や就業形態、家庭や地域のあり方にも影響が出てきている。

雄勝湾は天然の良港であり、湾内ではホタテやホヤ、カキなどの養殖が盛んに行われている。また、周囲の山々から取れる良質の粘板岩を利用してつくられる硯や工芸品は、特産品である。

本地域には、数百年の歴史と伝統をもつ雄勝法印神楽が健在であるが、硯職人とともに後継者の育成が大きな問題となっている。

2 学校の概要（平成20年5月1日現在）

	1年	2年	3年	特別支援学級	計
学級数	1	1	2	1	5
生徒数	29	37	44	2	112

II 研究の内容及び成果等

1 研究主題

(1) 研究主題

地域の人材を生かし、郷土の伝統文化に触れる機会を充実させる指導方法の工夫

(2) 研究のねらい

地域の人材、施設を積極的に活用し、伝統文化の伝承学習やふるさと体験学習を行い、地域の歴史、文化、産業、伝統等への理解を深めるとともに郷土愛の醸成を図る。

2 本年度における研究の取組概要等

(1) 取組の概要

本校では、雄勝法印神楽、伊達の黒船太鼓、雄勝石工芸の3つの伝統文化の伝承活動に取り組んだ。神楽と和太鼓の指導については、保存会の方に講師をお願いし、年間20時間（10日程度）指導に当たっていただいた。各コ

ースとも始めにその文化の歴史を調べたり、VTRや作品を鑑賞したりする活動を取り入れ、学習意欲の向上を図った。その後は、実演や製作を中心に学習を進め、文化祭や地域の祭り等での発表、評価の時間を設定した。

(2) 教育課程上の位置付け

今年度より総合的な学習の時間に、縦割総合（38時間）を位置付け、その中の3コースで伝統文化の伝承活動に取り組んだ。

(3) 指導の実際（神楽コース）

6月 課題設定、学習計画立案、ビデオ視聴、調べ学習（教師による指導）

7月～10月 実技練習

- ・ 講師による実技指導
- ・ 教師、生徒による教え合い

10月12日（日）雄勝ホタテ祭にて発表

10月19日（日）新山神社祭にて発表

10月26日（日）文化祭にて発表

11月10日（月）縦割総合発表会にて発表



縦割総合発表会で新演目「四天」を発表

11月 活動のまとめと反省

3 成果と課題

- 課題設定から調べ学習、実技練習、発表、評価、まとめまでの流れがスムーズであったため、生徒は意欲を低下させることなく、楽しく学習することができた。
- 神楽コースでは、9名中4名が活動終了後の1月になって、自らの意志で正式に保存会への入会を決定した。
- それぞれのコースにおいて、次年度の活動の中心となる生徒が残るよう、さらに活動内容を吟味、精選していくことが課題である。

Ⅲ 指導事例

都道府県・指定都市名 宮城県

学校名 石巻市立雄勝中学校

教科等	総合的な学習	学年	全学年	単元名	縦割総合学習 法印神楽の伝承
単元のねらい	地域の伝統文化について知り、その伝承活動に取り組もうとする姿勢をはぐくむ。				
取り扱う伝統文化	法印神楽				
◇単元の概要					
<p>雄勝法印神楽は数百年の歴史を持つ地域の伝統文化であり、生徒もこれまでに何度も目にして来ている。小学校で神楽にふれてきた者も多い。この学習では、さらに詳しくその歴史や内容について調べ、実際に舞うことで、神楽のもつ魅力や伝統芸能としてのすばらしさ、伝承していくことの大切さに気付かせ、ふるさとを愛する心情を養う。</p>					
◇単元の指導計画（全38時間）					
時	主な学習内容、学習活動等				教師の指導、取組体制（外部人材の活用含む）等
1	縦割総合ガイダンス コース最終決定				全校生徒対象 コースごとのメンバー確認
12	神楽のビデオ視聴 テーマ検討 課題設定 学習計画立案 調べ学習 発表会				法印神楽のビデオを視聴させる。 個人テーマ、課題を設定させ、様々な視点から神楽について調べ、まとめたことを一人一人に発表させる。
8	実技練習「初矢」				外部講師による指導。 講師を招き、生徒9名、担当教師2名で練習。
10	実技練習「四天」、 「初矢」 ＜地域の祭りでの発表「初矢」（2回）＞				外部講師による指導（8時間） 担当教師による指導（2時間）
3	神楽ゆかりの山（石峰山）登山				生徒9名、教師3名で、神楽発祥の神社から、ゆかりの地を歩く。
4	＜文化祭における発表「初矢」＞ 実技練習「四天」 縦割総合発表会 「四天」発表 活動の反省・まとめ				担当教師による指導。 これまでの活動を振り返り、まとめを行わせる。
◇本事例による成果と課題					
(1) 外部人材や団体、教材開発等に関して					
<p>昨年度から、外部講師の方々に指導をお願いしてきたが、今年度からは他のコースと合わせて、年間計画の中に発表の場やまとめ取りの日を設定したことで、指導者、生徒双方の目標が明確になり、スムーズに打合せや学習を進めることができた。さらに、保存会からの働きかけもあり、活動終了後に、4人が保存会に入会したことは、今後の活動への大きなはずみになると考える。</p>					
(2) 児童生徒の活動状況等に関して					
<p>個人の課題を設定し、調べ学習から活動を開始したことで、生徒は最後まで意欲をもって取り組むことができた。地域の祭りにおける発表の後は、自主的に夜間の保存会の練習に参加する生徒もおり、年間を通して、密度の濃い、充実した活動を行うことができた。</p>					